

【参 考】 通常の行動様式の発現を促すための工夫

ブロイラーの正常行動として、砂浴び行動、つつき行動や止まり木とまり行動等があり、ブロイラーの中に強い行動欲求があることが知られています。

敷料をある程度乾燥させ、砂浴び行動を促進させるとともに、つつくものとして乾草やボールなどを設置したり、止まり木を設置したりすることは「正常な行動ができる自由」という観点からAW上、有効な方法と考えられます。

(対策の一例)

つつき行動の対象が他の個体になると、異常行動であるカニバリズムに発展する可能性があります。

つつく対象として乾草やボール様のものを設置することでブロイラーにとって欲求の強いつつき行動を増加させることができ、AW向上の効果があると考えられます。

・ 乾草の設置



・ 試験的にボール様物を設置



(対策の一例)

止まり木を設置することで、ブロイラーにとって欲求の強い止まり木止まり行動が発現しやすくなるため、AWの向上に効果があると考えられます。

また、給餌器のレールにブロイラーが止まり、給餌器の中に糞が混入することを防止するなどの効果も期待できます。

・ 止まり木の設置



アニマルウェルフェアの考え方に対応したブロイラーの 飼養管理指針に対応したチェックリスト

このチェックリストは、基本的なアニマルウェルフェアを満たすために必要な項目を飼養管理指針から抜粋したもので、農場内での飼養管理がアニマルウェルフェアの考え方に対応しているかどうかを定期的にチェックするために作成したものです。

現在、すでに行っていれば「はい」に、行っていない場合は「いいえ」に印をお付け下さい。「いいえ」がある場合は、改善のための検討等を行い、鶏にとって快適な状態を提供することが必要となります。

1 管理方法

① 観察・記録

チェック項目	はい	いいえ
1 鶏の健康状態を把握するため、1日1回以上観察を行っていますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 鶏を観察する際に病気やけがの発生の予防等に努めるため、健康悪化の兆候や、けが、病気等が発生していないかを確認していますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 飼養管理に関する記録（日誌や報告書等）を毎日つけていますか（記録する項目の例；温度、病気・事故の発生の有無や原因、死亡羽数、飼料・水の消費量等）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

② 鶏の取扱い

チェック項目	はい	いいえ
1 鶏に不要なストレスを与えたり、鶏がけがを負うような手荒な取扱いをせず、日頃から丁寧に接していますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 鶏舎内で作業をしたり、鶏に近づいたりする際は、鶏に不要なストレスを与えるような突発的な行動（大声をあげる、急激な動作を行う等）をしないように努めていますか（ゆっくりと移動し、観察する等の方法をとっている）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 捕鳥は、鶏に負担のかからない方法（けが、骨折等をしない）で行っていますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

③ 病気、事故等の措置

チェック項目	はい	いいえ
1 けがや病気の鶏、病気の兆候が見られる鶏がいる場合は、可能な限り分離し、適切な処置を行っていますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 死亡した鶏がいた場合は可能な限り迅速に分離していますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 治療を行っても回復の見込みがない鶏や、著しい発育不良や虚弱な鶏は、適切な方法（頸椎脱臼等）で安楽死の処置を行っていますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

④ 鶏舎等の清掃・消毒

チェック項目	はい	いいえ
1 鶏舎施設や設備等を清潔に保つため、清掃を行っていますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 鶏舎から鶏を出荷した際は、新しい群の導入前に鶏舎の洗浄、消毒、乾燥を行っていますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

⑤ 農場内における防疫措置等

チェック項目	はい	いいえ
1 家畜伝染病予防法に基づく「飼養衛生管理基準」に基づき、病原体を農場に侵入させないための衛生管理を行っていますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 病原体の伝播や飼料の汚染の原因となる野鳥、ネズミ、ハエ等の有害動物の侵入防止、駆除に努めていますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

⑥ 管理者等のアニマルウェルフェアへの理解の促進

チェック項目	はい	いいえ
1 管理者及び飼養者は、鶏の健康を維持するために、飼養管理技術の重要性や鶏を丁寧に扱うことの必要性等を理解していますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 日頃から必要に応じて、獣医師等のアドバイスも受けながら、鶏の基本的な行動様式や問題行動、鶏の快適性を高めるための飼養管理方式、病気の発生予防、安楽死の方法等に関する知識の習得に努めていますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2 栄養（給餌・給水）

チェック項目	はい	いいえ
1 飼料は毎日給与していますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 鶏の発育ステージに応じた適切な栄養素を含んだ飼料を給与していますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 飼料を変更する場合は、計画的かつ段階的に行っていますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 水は、汚染されていない新鮮なものを毎日十分な量給与していますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 飼料と水の消費量を日々チェックしていますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6 飼料や水の品質を確保するため、給餌器や給水器は、定期的なチェック及び清掃を行っていますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7 鶏が過剰な闘争を起こさないように十分な数の給餌器や給水器及び、餌の摂取や飲水のための十分なスペースが確保されていますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8 と鳥前、過度に長時間の絶食が行われないように注意していますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

3 鶏舎

チェック項目	はい	いいえ
1 鶏舎は、鶏のけが等が発生しにくいような構造になっていますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 鶏舎の破損があった場合、それが原因で鶏がけがをしないように注意していますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 管理者及び飼養者にとって、日常の飼養管理や観察が行いやすい構造になっていますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 鶏舎は排泄物処理が適切にできるような構造になっていますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

4 飼養方式、構造、飼養スペース

チェック項目	はい	いいえ
1 床に敷料を使用していますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 敷料は適切な状態で管理されていますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 飼養スペースが適当であるかどうか、鶏の行動や分布等をよく観察したうえで判断し、必要なスペースを確保していますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

5 鶏舎の環境

チェック項目	はい	いいえ
1 気象や環境の変化によって鶏舎内の温度・湿度が大きく変化しないように注意していますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 鶏の発育ステージに応じて、温度、換気等の管理を行っていますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 鶏の快適性を維持するため、可能な限り、暑熱対策や寒冷対策を行っていますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 アンモニア濃度は舎内で作業を行う管理者等が、鶏の頭の高さで臭気を不快に感じる状態にならない（25ppmを超えない）ように注意していますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 鶏舎内の照明は、鶏が飼料及び水の摂取等の行動や管理者が日常作業を支障なく行うことができる明るさになっていますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6 一定時間の暗期を設けていますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7 鶏舎内の設備等による騒音を可能な限り小さくし、絶え間ない騒音や突然の騒音を避けるよう努めていますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

6 その他

チェック項目	はい	いいえ
1 アニマルウェルフェアの向上を図るため、常に鶏が健康で快適な生活ができているかどうかを把握するための努力をしていますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 自動化された設備（自動給餌器等）がある場合、正常に作動しているかどうか、少なくとも1日1回は点検していますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 換気等が自動化された鶏舎がある場合、停電時に備え、自家発電機や代替システムを準備していますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 農場における火災や浸水、道路事情による飼料供給の途絶等の緊急事態に対応するため、危機管理マニュアル等（連絡網等）を作成していますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ブロイラーにとって快適な状態であるかを確認するためのチェックリスト

下表のチェック項目は、鶏が快適な状態であるかを確認するための指標となります。実際に鶏の観察及び飼養環境の点検をする際の参考にして下さい。「はい」がある場合は、獣医師や専門家等に意見を求めるとともに、日常の管理方法や栄養、鶏舎等に問題がないかを再確認することが望まれます。

I 鶏の状態

1 餌・水

チェック項目	はい	いいえ
1 摂食行動や飲水行動をしていない鶏が多くいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 発育不良等が原因で淘汰する鶏が多くいる（通常よりも淘汰率が高い）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 1日当たりの摂食量や飲水量が前日に比べて大きく異なっている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

⇒「はい」がある場合は、疾病発生を疑うほか、給餌・給水の方法や飼料・水の品質、必要栄養量・飲水量等の再確認が必要です。

2 恐怖

チェック項目	はい	いいえ
1 鶏舎に人が入った際（見回りの時など）に、急いで人から逃げる鶏が多くいる（鶏が逃げようとして鶏舎内が騒然となる）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 甲高い警戒の発声をしている鶏が多くいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

⇒「はい」がある場合は、鶏の取扱い方法、照明等の再確認が必要です。

3 物理環境

チェック項目	はい	いいえ
1 開口呼吸（口をあけて呼吸）や翼を広げている鶏が多く見られる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 鶏がいる場所といない場所がはっきりと分かれている（鶏の分布に明らかな偏りがある）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 目に異常のある鶏が多くいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 羽毛の汚れや損傷が激しい鶏が多くいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

⇒「はい」がある場合は、暑熱・寒冷対策や換気の状態、敷料の質等の再確認が必要です。

4 苦痛・傷害・病気

チェック項目	はい	いいえ
1 死亡鶏が多くいる（急に死亡鶏の数が増えた）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 疾病に罹った鶏が多くいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 怪我（損傷）をした鶏が多くいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 歩けない鶏や歩き方に異常のある鶏が多くいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 胸ダコを起こしている鶏が多くいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6 足の裏に炎症（趾蹠）を起こしている鶏が多くいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

⇒「はい」がある場合は、疾病発生を疑うほか、換気を含む鶏舎施設の点検や飼養スペース、敷料の質等の再確認が必要です。

5 行動

チェック項目	はい	いいえ
1 砂浴び行動をしている鶏が少ない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 集団でつつかれて衰弱・損傷した鶏や、脱腸した鶏が多くいる（羽つつきやカニバリズムが起こっている）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

⇒「はい」がある場合は、床の状態、飼養スペース等の再確認が必要です。

II 飼養環境の状態

チェック項目	はい	いいえ
1 給餌器や給水器が過度に汚れたり、故障したりしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 敷料に長靴の跡がつくほど湿ったり、固く塊になっている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 換気扇が異常音をたてている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

⇒「はい」がある場合は、施設・設備等の点検や飼育環境の再確認が必要です。

本パンフレットは、AWの考え方を知っていただくとともに、日々の観察や適正な飼養管理等を充実させることが基本的なAWを向上させるために必要であることを再確認していただくために作成したものです。すでに実践されている当たり前の事例も多いことかと思いますが、今後のAWの向上に向けた取り組みに役立てていただければ幸いです。

問い合わせ先



公益社団法人 畜産技術協会

〒113-0034 東京都文京区湯島 3-20-9 TEL.03-3836-2301 FAX.03-3836-2302

ホームページ <http://jita.lin.gr.jp/> E-mail : info@jita.jp